



すすんでちようせし  
みんなといっしょに  
がんばる

令和5年2月28日 旭川大学附属幼稚園 園長 渡辺 盛二

ふぞろ

## 不揃いの木

今でも、1300年前に建てられた法隆寺などの古い建築物は、壊れないでしっかりと残っている。鋸もない釘もない時代にどのようにして、このような丈夫な建物を建てることができたのでしょうか。細くて勢いのある木、曲がった癖のある木、太い落ち着いた木、スーッと伸びた素直な木など、不揃いの木の性質を見極め、適材適所に使われて建てられているそうです。現在のように、ミリ単位で製材された同じ規格で同じ種類の木を組み合わせて建てても法隆寺のような建物はできないそうです。それは一つ一つの部材の精密さより、それを組み合わせた全体の精密さが重要だからそうです。木は生きているので不揃いの木を活かす大工の力量が問われるのです。

法輪寺三重塔や薬師寺西塔、金堂の再建など数々の寺社建築の棟梁を務めた宮大工小川三夫氏は、「<sup>いかるが</sup>鵜公舎」を設立しました。それは優秀な選ばれた職人を集めた仲間集団ではなく、学校の成績は良かったわけでもなく、品行が優れているわけでもない経歴や年齢に関係ない不揃いの弟子を10年間修業させるそうです。いろいろな性格や人柄が集まった人たちが共同生活をしながら互いに理解しあい心を通わせ技術を高めあい、やがて一人前になって巣立っていく場所なのだそうです。丁寧にああやってこうやってとは教えないそうです。まずは自分で見て覚え、時間をかけて何百回何千回も苦労しながらやってみて体で習得するそうです。自分で学ぼうとする意識を持たせることを大一番に考えているそうです。小川さんは、今の世の中は、急ぎ過ぎている。目と耳で学ぶことは多少急いでもできるが、体で覚えることは時間をかけなければできないと話されていました。

人間社会も、一般的に優秀と言われる適正な能力を持ったクローン人間を作り、不具合があれば修正プログラムでバージョンアップする世の中になると、トラブルもなく住みやすい社会になるのではないかと考えてしまいそうです。幼稚園の学級も、先生の言うことを聞き、何のトラブルも起こさない、手がかからない集団をつくるとなんてすばらしいのだろうと考えてしまいそうです。また、大人の社会も違う考えを排除し、同じ考えの人ばかりで会社を作ると仕事がしやすくうまくいきそうに思います。しかし、それは全く違うことに皆さ

んはお気づきでしょうか。人間である限り、一人一人の見え方感じ方考え方が違って当たり前なのだと思います。そして、集団生活をするためには、自分だけ満足するのではなく、みんなが幸せになるために、話し合っ譲り合い助け合いながら知恵を出し合っ生きていくことで、生きる楽しさや人と人との絆が生まれるのだと思います。一部の人のための合理的、管理的な教育機関や社会にならないようにと願う次第です。

子どもたちを見ていると、毎日が冒険ドラマを見ているようで、いろんなことが起こり、とても面白いです。もしそれを管理的な視点で見ると、イライラしてしまうのかもしれない。

私がある学校で働いているとき、一人のおばあさんが訪ねてきました。「〇〇先生にお話があります。」という要件でした。事情があっそのおばあちゃんは、新聞配達をしながら一人でその孫を育てていました。そのおばあちゃんが、先生にこんなことを言っていたのを今でも覚えています。（話の一部を紹介しします。）「無学な私の話を聞いてください。」「先生は、どの子も立派なメロンに育てたいと思っているのではないのでしょうか。うちの子は、大根です。大根でいいのです。大根だけれどみんなから愛され、おいしいと言ってもらえる大根に育てばいいのです。」という話でした。確かに、特上の牛肉ばかりがごちそうかと思えばそうとも限りませんよね。秋刀魚に大根おろしとかおでんに大根とか最高じゃありませんか。その先生は、一人一人の心に寄り添った指導に欠けていたことに気づくことができました。とっても深い意味のある話です。集団の中で子どもを育てることで陥りやすい過ちは、子どもの気持ちを押し量ることより、目先の仕事をこなすことにとらわれ、自分の思うままに子どもを操る術を身に着けることが指導力があると勘違いして、いかに効率的に子どもを動かすことを考え手間のかかることは避けようとする事です。子どもの気持ちを想像しながら言葉のかけ方を工夫したり、一緒に悩んだり喜んだりする気持ちが大切なのです。まさに幼稚園も学校も不揃いの子どもたちの集まりです。なぜならば、同じ人間なんかは存在しないからです。その不揃いの集団を管理的に統率し力だまとめようとする時、うわべ上はまとまっているように見えますが、心を一にする人間集団はつくれません。陰でこそこそといじめが始まります。いじめは、心の部屋の隅っこにたまった汚れたごみの塊です。心の部屋のドアを開かない限りゴミを吐き出すことはできません。宮大工の話もおばあちゃんの話も、「人を育てるとは何か。人の何を育てるのか。」を問う言葉です。

子どもは良くも悪くも環境の中で、環境にあった子どもが育ちます。その環境をつくるのは、私たち大人です。







## 行事予定

3月 3日（金） ひなまつり  
3月10日（金） 3月生まれ誕生会  
3月20日（月） 午前保育  
3月22日（水） 午前保育  
（のびっこ朝のみ有り）  
3月23日（木） 卒園式  
（いちご組、れもん組は休園）  
3月24日（金） 修了式  
（午前保育）  
（のびっこ朝のみ有り）  
3月27日（月） 春休み始まり  
春休みのびっこ始まり  
令和5年度新入園児一日入園

## 春休み預かり保育について

3月27日（月）～3月31日（金）  
全クラス利用可能

4月3日（月）～4月5日（水）  
新しいちご組（満3歳入園者）、  
新れもん組、新さくらんぼ組のみ  
利用可能

4月6日（木）  
始業式：新れもん組、新さくらんぼ組  
のみ利用可能

4月7日（金）  
入園式：全クラス預かり保育はありません。

4月10日（月）から  
全クラス利用可能  
※コロナウイルス感染予防のため、預  
かり保育はお仕事をされているご家  
庭のみ利用可能とさせていただきます  
。ご理解のほどよろしくお願  
いいたします。



### \* 3月23日（木）卒園式について \*

この日は、さくらんぼ組のみ登園になります。いちご組、れもん組は休園になります。

### \* 令和5年度始業式・入園式の日程について \*

令和5年度の始業式は、4月6日（木）になります。又、入園式は4月7日（金）になります。この日はれもん組、さくらんぼ組は休園になります。満3歳児入園をされている方は、始業式は休園となり入園式は出席となりますのでよろしくお願いいたします。

### \* 令和5年度 満3歳児入園について \*

令和5年度に満3歳児入園園児の人数を把握させていただくため、現時点で満3歳児入園を希望されている方は3月6日（月）までに幼稚園まで連絡をお願いいたします。

○満3歳入園対象生年月日：令和2年4月2日～令和3年4月1日生まれまで